

成長戦略のこれまでの取組み状況

令和4年2月、新しい未来と更なる発展に向けた**富山県成長戦略**を策定

- 成長戦略の取組みをスピード感をもって**拡大、進(深)化・浸透**
- 「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山」の実現に向けて、**地方発の「新しいモデル」**を創出
- 「ウェルビーイング指標」や関係人口など**独自の指標を設定**、今後、**施策の効果を検証**し、ビジョン実現に向けた取組みをさらに推進

◆ 成長戦略の拡大、進(深)化・浸透

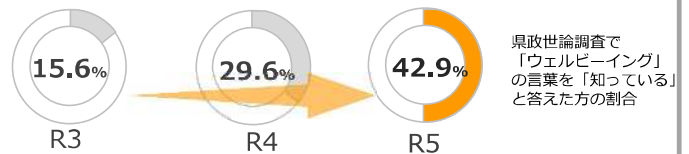
戦略を着実に実行するための「成長戦略アクションプラン」を毎年度とりまとめ

アクションプラン事業数は年々拡大



戦略の理念が県内に着実に浸透、取組みが拡大

「ウェルビーイング」の言葉が着実に県民へ浸透



「ウェルビーイング」に関する取組みが拡大

- ・「富山女性活躍企業」の認定企業が拡大(58社(R6.1/1現在))
- ・富山経済同友会がウェルビーイング小委員会を設置
- ・(公社)日本青年会議所北陸信越地区富山ブロック協議会と県がウェルビーイング推進に関する連携協定を締結
- ・高校生の発案を活かした、ウェルビーイングの向上が期待できる「ロゲイニング」の開催 など

「官民連携」に関する取組みが拡大

- ・県内自治体で官民連携協定の締結が進む
- ・官民連携によるプロジェクト組成が広がる など

◆地方発の「新しいモデル」

官民連携による新たなプロジェクトの創出

「しあわせデザイン」が民間主導で設立
「プレイヤーパーク」プロジェクトが始動
雨晴海岸（キャンプ場）の利活用

R5.4

ブランディング推進本部を設置。

10年計画で「**寿司といえば、富山**」ブランディング戦略を推進

「寿司といえば、富山」を象徴する場の創出に向けて、人材育成、環境整備、普及啓発に着手(R6～)

R5.2

主観的な要素からなる県独自の

「**ウェルビーイング指標**」を策定・公表

政策形成に活用

R5.1

指標策定と政策形成活用の取組みが、総務省「第8回地方公共団体における統計データ利活用表彰」で「総務大臣賞」（最高賞）受賞

5

デジタルにより本県が直面する諸課題を克服

都道府県別デジタル度ランキング全国4位、うち「デジタル公共サービス」全国1位(東京都と並び)を実現(2022年)

「**富山県デジタルによる変革推進条例**」を制定し、さらに推進

R6.3

県内にスタートアップ支援の取組みが拡大、

「**スタートアップエコシステム**」の輪が整いつつある

学生主体の起業支援団体T-Engine設立

EO北陸(若手企業家の世界的ネットワーク)による若者の起業支援組織の設立準備が進む

R5.7

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた

「**富山県カーボンニュートラル戦略**」を策定

国を上回る意欲的な温室効果ガスの排出削減目標を設定

(2030年度53%減/2013年度比)

R5.3

6

これまでの取組み状況（詳細）

1 ウェルビーイング戦略

K P I

県民のウェルビーイングが持続的に向上していく「ウェルビーイング先進地域」の創出



主な取組みと成果

●主観的な要素からなる県独自の「ウェルビーイング指標」の策定・公表 (R5.1)

- ▶ 県民意識調査により県民ウェルビーイングの状況を把握し、指標・データ等を政策形成に活用する世界的にも先進的な取組みにチャレンジ（総務省「第8回地方公共団体における統計データ活用表彰」で「総務大臣賞」（最高賞）受賞）
- ▶ ウェルビーイング県民意識調査（R4→R5：総合実感（現在）10～50代で上昇、総合実感（未来）20代で上昇）
- ▶ 分かりやすい情報発信や県民参加型事業等により、ウェルビーイングの言葉の認知度は着実に向上（R3：15.6%→R5：42.9%）

●「とやま女性活躍企業」認定制度

- ▶ 女性が活躍する県内企業等を県が認定 58社（R6.1/1現在）

●子育て支援ポイント制度の導入準備 (R6.10月～導入)

- ▶ 出産から子育て期までの切れ目ない支援を実現するため、「子育て応援券」を拡充し、地域通貨を付与するポイント制度を展開

KPIの進捗状況

指標による県民ウェルビーイングの状況把握、その向上に向けた政策展開が県内外から注目されるなど、ウェルビーイング推進の基盤が整いつつある。また、ウェルビーイングを意識し、高め合うことを目指す県民主体の取組みが広がってきている。

2 まちづくり戦略

K P I

- ・市町村とも連携しながら、地域主導・官民共創による個性的なまちづくりに向けた地域での新たな取組みや発展的な事業展開を行う組織の創出（15組織）
- ・富山の自然や風土を活かし、新しい文化を組み合わせた持続可能なまちづくりプロジェクトの創出

主な取組みと成果

●官民連携・規制緩和推進本部の設置 (R5.5)

- ▶ 官民連携を一層推進するため、知事を本部長とする「官民連携・規制緩和推進本部」を設置
官民連携や規制緩和に関する課題やノウハウの共有化や体制強化を図る

●官民連携・規制緩和推進デスクの設置 (R4)

- ▶ 県庁の官民連携・規制緩和推進の窓口として設置。相談件数 881件（1日平均約2件、R6.2月末現在）

●「しあわせデザイン」の設立 (R5.4)

- ▶ 県内各地で特色あるプレーヤーが集まり、多彩なアイデアを結集し、ウェルビーイングな価値を創造する人材の輩出に取り組む民間主導型の官民連携組織

KPIの進捗状況

- ・地域主導・官民共創によるまちづくり組織の設立に向けたプロジェクトが始動
- ・「世界が憧れる田園地域」創出に向けたまちづくりプロジェクトに着手

3 ブランディング戦略

K P I

- ・「富山＝ウェルビーイング」のイメージづくりに資する「『〇〇』と言えば富山」を、まずは1個創出し、県内外の評価を確立
- ・世界的に評価され、国内外から人を惹きつける、ウェルビーイングを体現した象徴的な場（景色、コンテンツ、事業・イベント等）の創出

主な取組みと成果

●ブランディング推進本部の設置（R5.2）

- ▶まずは「寿司」をフックに一点突破 **「寿司といえば、富山」** ⇒10年計画でブランディング戦略を推進
10年後の目標：①「寿司と言えば、富山」の県外認知度90% ②富山の「寿司」を友人等に積極的に勧める県民の割合90%
- ▶「寿司といえば、富山」富山県ブランディングプロジェクトの開始



●北陸3県連携による関西圏での情報発信拠点の整備（R6.7開業予定）

- ▶北陸新幹線敦賀開業、その先の大阪延伸や、2025年の大阪・関西万博の開催も見据え、北陸三県連携による関西圏での情報発信拠点を、大阪駅西地区「JPタワー大阪」内の商業施設「KITTE大阪」内に設置 **「北陸の一体感」と「各県の特徴・魅力」を最大限PR**

●欧州向けプロモーション「富山 week in ロンドン」(R4～)

- ▶欧州の旅行会社が集積するロンドンで、富山の暮らしや伝統文化等の体験・展示等を実施し、誘客を促進



KPIの 進捗状況

- ・主要都市圏で「寿司でイメージする都道府県」として富山県を回答した方の割合 8.9%
- ・富山・石川・福井情報発信拠点「HOKURIKU+」（ほくりくぷらす）開業予定

11

4 新産業戦略

K P I

- ・カーボンニュートラルやSDGsなどの世界的な潮流も見据えて、県内企業のDX・高付加価値化により収益力を高め、製造業における付加価値率の全国上位を実現
- ・新たな製品・サービス、企業、市場の創出により、県民1人あたりの県内総生産を年約2%増加

主な取組みと成果

●富山県カーボンニュートラル戦略策定（R5.3）

- ▶国を上回る意欲的な温室効果ガスの排出削減目標を設定（**2030年度53%減**/2013年度比）

●アルミ産業の競争力強化とリサイクル（グリーン化）の取組み推進

- ▶カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーに係る取組みやリサイクル（グリーン化）に関する研究開発を実施
「アルミバリューチェーングリーン研究会」発足(R3)、県内アルミ産業界においてCO2排出量が見えるDXアプリの普及等を実施
- ▶**富山大学（高岡キャンパス）産官学金連携アルミリサイクル研究拠点「軽金属材料共同研究棟」**（R5.10.23開所）整備を支援

●DX人材の育成・データサイエンス教育の推進

- ▶**県立大学DX教育研究センターの運営**（令和4年4月供用）
- ▶**県立大学「情報工学部」**を開設し、新たに**「データサイエンス学科」**を設置（令和6年4月）



(情報工学部棟外観イメージ図)

KPIの 進捗状況

製造業における付加価値率：36.8% 全国11位（R4年調査（R3年））
県民1人あたりの県内総生産（実質）：年4.9%※1（R3年度調査（R3年度/R2年度））

※いずれも成長戦略策定以前の数値であることに留意。戦略策定後の状況は、各統計が公表され次第検証。
※1 新型コロナウイルスの影響による落ち込み（▲3.6%）からの反動増に留意。

12

5 スタートアップ支援戦略

K P I

I P O 1 社又は同等の企業価値を発現する企業複数社の創出、及び大学発ベンチャー企業10社以上の設立

主な取り組みと成果

●とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業（R④～）

- ▶ロールモデル創出のため、案件発掘や集中的な伴走支援、機運醸成等を実施
スタートアップを継続的に生み出す**スタートアップエコシステムの形成**
(R5年度の進捗)・T-Startup企業を6社選定し、集中支援を実施
 - ・サービス・プロダクトの開発9件、資金調達3件につながった
 - ・T-startupサポーター 60団体 (R6.2月末時点)
- (R4年度の実績)・T-Startup企業を6社選定
 - ・サービス・プロダクトの開発5件、資金調達3件につながった
- ▶学生主体の起業支援団体T-Engine設立 (R5.7)、EO北陸(若手企業家の世界的ネットワーク)による若者の起業支援組織の設立準備が進む→スタートアップエコシステムの輪が整いつつある



R5 T-Startup選定企業



R5.11.3地域交流イベント

●「SCOP TOYAMA」を拠点とした創業支援

- ▶創業支援センター及び創業・移住促進住宅からなる**全国でも先駆的な職住一体の施設**
起業家や移住者を呼び込む「ヒト・モノ・コト」が交流する拠点
- ▶県新世紀産業機構のよろず支援拠点や県信用保証協会と連携し、対面の個別相談会を毎月開催
- ▶上場に向けた手順等を学ぶセミナーや起業マインドを醸成するワークショップを定期的に開催

KPIの 進捗状況

T-startup選定企業1社が上場準備中、大学発ベンチャー企業数5社増加(計8社)

13

6 県庁オープン化戦略

K P I

- ・一般行政部門職員(約3,200名)の1%以上/年がジョブチャレンジ制度や庁内複業制度を活用
- ・DCI(デジタル・ケイパビリティ・インデックス)の構成要素の一つである「デジタル公共サービス」のスコアが全国上位の20.0以上を実現

主な取り組みと成果

●越境人材、チャレンジする人材の育成

- ▶学びを共有して共創を生み出す共創スペース「コクリ」を整備し、組織の垣根を越えたコミュニケーションを促進
- ▶庁内プロジェクトチーム、庁内複業制度、ジョブチャレンジ制度、**チャレンジコンテストの実施**

▼「人材育成・確保基本方針」及び「職員行動指針」を策定
職員のチャレンジを応援し、やりがいをもって働ける職場づくりを推進

職員一人ひとりが自ら考えて“始動”する富山県へ

●県庁におけるウェルビーイング経営の推進

- ▶**仕事と家庭の両立、職員の働きがいの向上** 男性の育休取得促進、時差出勤やテレワークなど柔軟な働き方の定着
- ▶**執務環境の整備** 新しい働き方にふさわしいモデルオフィスの整備

●デジタルを活用した住民サービスの向上

- ▶電子契約の導入 (R4.10月～)
- ▶電子申請に係る手数料等の電子納付対応 (R4.10月～) R4.10月 **102**手続き → R6.1月 **212**手続き → **今後順次拡大**
- ▶**県公式LINEのリニューアル** (R5.3月)
妊娠・子育て、結婚サポートなど利用者目線のメニューを大幅拡大、事前に登録いただいた関心分野に関する情報をプッシュ配信

▼富山県デジタルによる変革推進条例を制定(都道府県では全国で2番目)
行政運営でのDX推進、市町村との連携強化、県民の利便性の向上

KPIの 進捗状況

- ・一般行政部門職員の1.03%(R5年度)がジョブチャレンジ制度や庁内複業制度を活用
- ・都道府県別デジタル度ランキング 2022年全国4位、うち「デジタル公共サービス」(スコア:21.7)全国1位(東京都と並び)を実現

14